

# 高知県

徳島県



# 84 高知城

--- 100名城 ---  
2021.12.04

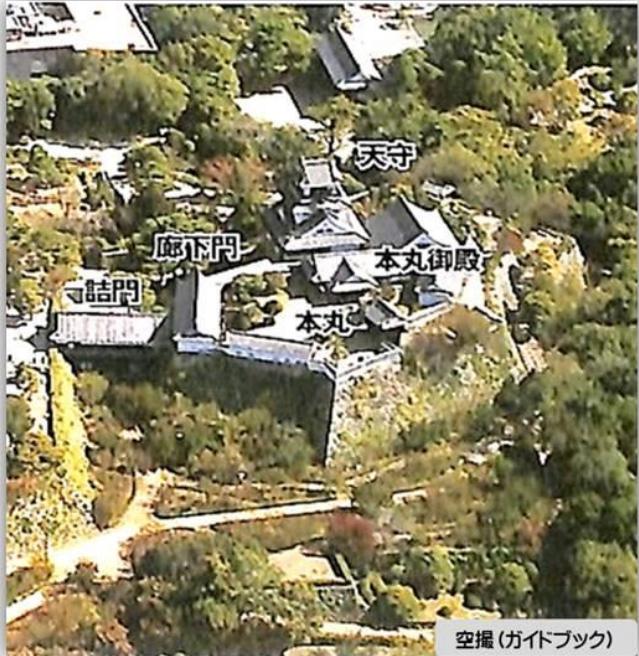
別名： 鷹城



土佐を治める長宗我部氏が関ヶ原で改易され、代わりに山内一豊が土佐24万石で入国、大高坂山に城を築き「河内山(こうちやま)」と名づけた。

その後、水害が絶えないことから「高智」と字を改め、それが転じて現在の「高知」となった。

FB - 111



城内で驚いたのは、あちこちに所狭しといろんなジオラマが展示されており、見学には圧巻のボリュームです。

お城のほかにカツオ漁・クジラ漁などの様子がジオラマで展示されており、時間を忘れます。



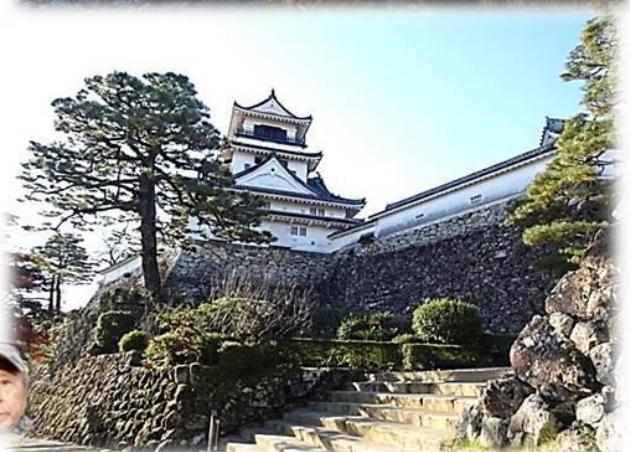
石垣 (いしつい)

高知県は全国でも有数の多雨地帯のため、高知城も特に排水には注意が払われています。

排水が石垣に当たらないよう上部から突き出して造られており、下の水受けには敷石を設けている。現在16ヶ所確認している。



ジオラマ (お城内・ところ狭しと展示)



# 180 岡 豊 城

おこう じょう

--- 続100名城 ---

2021.12.04



岡豊城は戦国時代に四国の霸者となった長曾我部氏の居城で、岡豊山(標高97m)に位置し、既に戦国時代末期には廃城となっています。国の史跡になっています。

FB - 112

普段お城の呼び名として、本丸・○○丸と呼んでいますが、それが「詰」「○○段」と呼んでいることに凄く違和感を覚え、資料館の人に尋ねてみると、逆に怪訝な顔をされ、この時代はこれが普通だと教えられました。解説は右の一口メモに記しますのでご覧ください。



私の訪問時にはありませんでしたが、「名城/続名城 訪問記」というWEBサイトに掲載されていた、詰(城内最上段)の写真を紹介します。この写真は期間限定(撮影2017/5)で二層模擬櫓が建てられていたそうです。



空撮(詰は本丸のこと)---ガイドブックより



一口メモ---城郭の呼び方

よく本丸・二ノ丸・三の丸などと呼んでいますが、この呼び方は、江戸時代以降に登場したようで、その由来は、軍学上で「城は丸く作ることが理想」とされたからという説があります。

それ以前(戦国時代以前)は、最高所の本丸に当たるところを詰(つめ)、次に詰下段、二の段、三の段、四の段、ということらしいです。下図の園内MAPで確認ください。

